

## 建設から41年 学校給食センターの整備方針

6  
月  
議  
会

令和7年9月から

### 給食事務を富里市へ委託する議案が可決されました

町は、昭和58年の建設から41年が経過し老朽化が進む町学校給食センターの抜本的な対策を検討していましたが、富里市からの打診を受けて協議・検討を重ね、6月議会定例会に酒々井町の学校給食事務を令和7年9月1日から富里市に委託することについて議案を提出し、賛成多数で可決されました。



酒々井町学校給食センター

また、富里市議会においても同様の議案が全会一致で可決成立したことから、今後、両市町で本格的に準備を進めていくこととなります。

令和8年4月から

ーコスト削減を子育て支援にー

### 小坂町長が中学生の給食費無償化の方針を発表

議案の提出にあたり小坂町長による提案理由の説明がありましたので、一部を紹介します。

#### 【提案理由】

富里市の学校給食センターは平成26年に4,500食の調理を可能とし、竣工から10年を迎える中、調理能力の余剰について有効活用を検討されていた経緯から酒々井町にお話がありました。

私としましては、この申し出は、地方自治の基本である最少の経費で最大の効果が期待できる選択肢のひとつと考え、その申し出を受け入れ、その後、富里市と検討を重ねてきました。

検討の結果、富里市への委託により広域的な少子化対応、将来の安定した給食の提供等、様々なメリットが見込まれると両市町において確認されたところです。

なお、検討の過程において、その都度、議員の皆様にご報告・相談をしてきましたが、改めて必要経費の試算等について説明します。

仮に、酒々井町単独で新たな学校給食センターを建設した場合の新築費用は約12億3,000万円が必要となるほかに、給食センター用地の取得も必要となります。また、自校式、つまり各学校に同様の施設を整備する場合には、13億4,800万円の初期投資費用が見込まれます。なお、これには昨今の物価上昇は含まれません。

#### 【初期投資の試算】

- 新たな給食センター建設 ※用地代を含みません  
約12億3,000万円  
(起債償還4,700万円×20年)
- 各学校に自校式施設を整備  
約13億4,800万円  
(起債償還5,200万円×20年)
- 富里市へ調理等業務を委託  
約5,253万円  
(起債の償還なし)  
(起債：必要な資金を国や金融機関から調達する、いわゆる借入金)

## ～子ども達に借金を残さない道を選択～

一方、富里市へ委託した場合には、必要な初期投資としては、富里市学校給食センターの施設の整備費用と、酒々井町用の備品等購入費用として約5,200万円が必要となります。

さらに、現在のコストと比較した場合、調理業務、配送・配膳業務について年間で約1,500万円、光熱水費などの経常経費で約500万円、両市町合計で年間約2千万円のコスト削減が図られる試算となりました。

このような財政的縮減効果については、厳しい財政事情の中にありながらも行政サービスの向上につなげていけるものと考えています。さらに、独自に建設した場合は建設費の償還が必要となりますが、それが不要となりますので、その分をもって子育て支援が可能となるところです。

そのひとつとして、富里市において、この4月より中学生の給食費無償化を実施しておりますが、令和7年9月に富里市への委託が行われた際には、同様に酒々井町においても中学生の給食費無償化を実施してまいりたいと考えています。実施時期は、令和8年4月からを考えています。

これまで申し上げましたように、学校給食事業の遂行にあたりましては、「経済性」、「効率性」、「時代適合性」、「有効性」等を考慮しつつ、日本の社会が抱える大きな課題である少子化問題、つまり、今後の児童生徒の減少に、両市町が広域的に連携して立ち向かっていこうとするものです。

富里市の学校給食センター事業は、安全かつ安定した十分な実績とともに、児童・生徒からも好評を得ていると伺っています。

今後も引き続き、安全で安心な学校給食を提供できるよう富里市と連携を図ってまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。



### 給食数の推計(酒々井町)

令和5年度	1,400食
令和7年度	1,260食
令和10年度	1,130食

児童・生徒数の減少により、給食数の減少が見込まれます。



## 富里市給食センターを酒々井町議会が視察

### ～給食「美味しい」と評価～

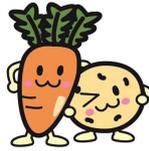
6月4日、酒々井町議会が富里市の学校給食センターを視察しました。議員全員が参加したこの視察では、衛生的で充実した設備を視察し、給食の試食も行われ、議員の皆様は口々に「美味しい」との評価をされていました。

## ～富里市・酒々井町学校給食事務委託に関する協定式～

6月24日、富里市学校給食センターで、富里市と酒々井町の学校給食事務委託に関する協定式が行われ、富里市の五十嵐博文市長と酒々井町の小坂泰久町長が協定書にそれぞれサインをしました。

小坂町長は、「行政課題に立ち向かう一つのモデルケースであり、富里市と連携して将来を担う子ども達に安全・安心な給食を継続的に提供していきます。」と挨拶しました。





## Q & A

Q. 富里市からの配送では、遠くなって給食が冷めたりしませんか。

A. 富里市の給食センターからいちばん遠い酒々井小学校までの距離は約9 km強で、これは、現在の富里市内でいちばん遠距離の日吉台小学校までの距離と僅差です。富里市からは、「日吉台小学校から給食が冷めているといった指摘はこれまでないのでご安心ください」と回答をいただいています。また、富里市の規格にあわせるための食器、食缶類の更新により現在より保温性が向上することにも期待しています。



酒々井町学校給食センター

Q. 他で給食を委託する団体はあるのですか。

A. 千葉県内では、御宿町が勝浦市に委託しています。また、全国的にも事例があります。

Q. 現在の場所に建て替えはしないのですか。

A. 法令上の許認可の問題や、長期間（複数年）にわたり給食の提供を中止せざるを得ない状況を考慮し、同じ場所への建て替えは行わない方針としました。

Q. 今、米飯で使用している酒々井産米は使われるのですか。

A. これまで同様、米飯については町内業者に委託して酒々井産米の炊飯をしていきます。

Q. 地元産の食材はどうなるのですか。

A. 現在、地元産の野菜などを町の学校給食に納めていただいている方々と富里市への委託後も継続して納品が可能か話し合っています。今後は、富里市も交えて納品の方法などを協議していきます。

Q. 中学生だけではなく、小学生も給食費を無償化してほしいのですが。

A. 小坂町長は、令和7年9月からの富里市への委託が行われた際にはそのコスト削減効果を子育て支援策等に充て、そのひとつとして、富里市にあわせるかたちで令和8年4月からの中学生の給食費無償化の方針を6月議会で表明しました。小学生の給食費無償化については、今後、国・県による施策や他団体の状況、町の財政状況等を踏まえつつ、判断されていくものと考えます。

Q. 富里市の給食センターの概要を教えてください。

A. 総事業費約15億8千万円をかけて建設され、施設竣工は平成26年、調理能力は4,500食/日です。

詳しくは富里市学校給食センターのホームページをご覧ください。

※①QRコードから②QRコードの下の「富里市学校給食センター」の文字をクリックのいずれの方法でもご覧いただけます。



富里市学校給食センター